

慶安手鑑

◆ 増田 孝・日比野浩信〔編〕

【二〇一七年一月刊行】

古筆家初代・古筆了佐によって、慶安四年（一六五一）に版行された、大型木版本『御手鑑』の影印・釈文（翻刻）・筆者略伝・索引をコンパクトに収める。古筆研究の手びきとして、ご利用ください。

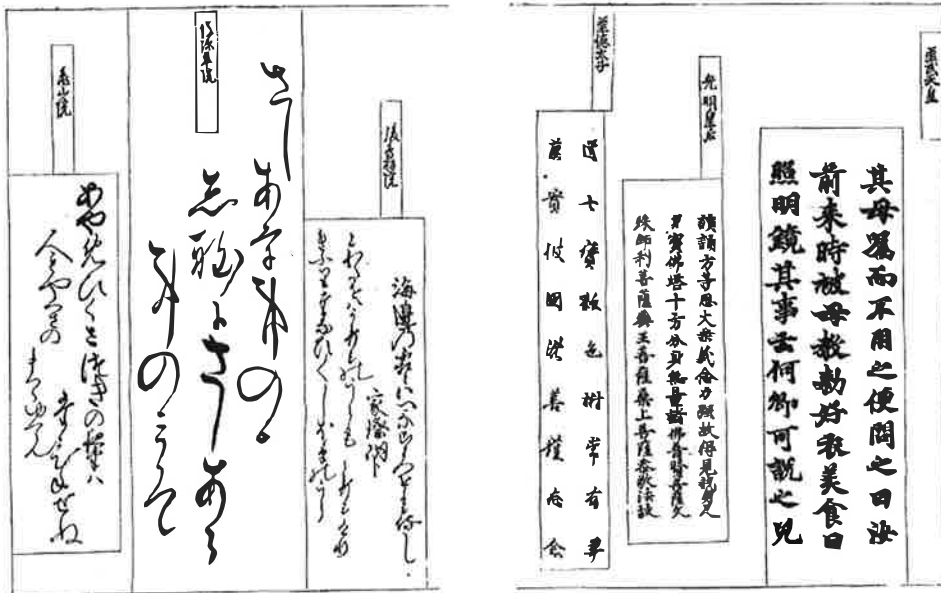
【内容目次】

- 『御手鑑』の解説にあたって (増田 孝)
- 慶安四年刊『御手鑑』について (増田 孝)
- 慶安手鑑小考 (日比野 浩信)

- 影 印 (宮崎 富山)
- 釈 文 (宮崎 富山)
- 筆者略伝 (宮崎 富山)
- 索引 (宮崎 富山)

▶ B 5 判・332頁
 定価: 本体 4,000円 (税別)
 ISBN978-4-7842-1878-3

★文献出版『慶安手鑑』（1989年）より増田孝論文を再録。影印部分は状態のよい版本から撮り直し、新たに日比野論文、釈文、筆者略伝、索引を収録。



ますだ・たかし……1948年生。愛知東邦大学人間学部教授。博士（文学）。著書『くずし字辞典』（思文閣出版、2000年）、『本阿弥光悦人と芸術』（東京堂出版、2010年）、『書は語る 書と語る』（風媒社、2010年）など。
 ひびの・ひろのぶ……1966年生。愛知淑徳大学・京都女子大学非常勤講師。著書『二条為氏と為世』（笠間書院、2012年）、『歌びと達の競演諸家集・歌合断簡集成』（共著、青簡舎、2014年）など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版 (京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	慶安手鑑	本体4,000円(税別) ISBN978-4-7842-1878-3
お名前			tel
			e-mail
ご住所	〒		
送本方法	代引 (書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		

本書HPのQRコード



くずし字辞典

波多野幸彦監修／東京手紙の会編集

天皇・公家・武将・僧侶・茶人・文人・商人などの実用の書である自筆消息（書状）からその筆跡（35,000字）を、また必要に応じて中国の代表的書家・文人からも一字一字拾集し、採字した。各文字にはその人名を明らかにした画期的な辞典。消息（書状）の解説、鑑賞などに幅広く活用できる。

▶A5判・1400頁／本体6,000円

ISBN4-7842-1024-5

近衛家熙写手鑑の研究 仮名古筆篇

村上翠亭・高城竹苞共著

陽明文庫蔵・近衛家熙写手鑑（予楽院臨書手鑑・重美）所収の仮名古筆（臨模断簡）100点をとりあげ、全図を原寸大（一部縮小）で収録し、筆者名・古筆名・書誌事項・釈文等各1点ずつについて詳細な考証を加え、原本などの参考図版85点も併載。

▶A4判・280頁／本体12,000円

ISBN4-7842-0968-9

平成新修古筆資料集 [全5集]

田中登編

古筆切は国文学の研究上、重要な資料であり、また優れた美術品でもある。それらは古筆を愛する人々や必要とする人々の共有財産となるべきとの観点から、編者蒐集の所蔵品の中から各約120点を解説と図版で分かりやすく紹介する。

▶A5判・平均260頁／各本体2,500円

※第1集は品切

徳川黎明会叢書 古筆手鑑篇 [全5冊]

徳川黎明会編

徳川黎明会所蔵の徳川家伝来あるいは蒐集の歴大な資料の中から、国文学、書道、美術資料として貴重な典籍を精選し、未公開のものを中心に収録したシリーズ。

【古筆手鑑篇 構成】玉海・尾陽／蓬左・霜のふり葉・八雲／藁叢・桃江・文車／鳳凰台・水茎・集古帖／古筆聚成

▶A5判・平均450頁／揃本体68,000円

宸翰英華 別篇 北朝 [図版篇1冊・解説篇1冊]

宸翰英華別篇編修会編

昭和19年刊の帝国学士院編『宸翰英華』には収録されなかった光厳天皇および光明・崇光・後光厳・後円融の北朝五代の天皇の主要な宸翰101点を収録。解説篇には13名の研究者になる詳細な釈文・解説に、系図、年譜、自署・花押一覧を付す。

▶図版篇B4判・240頁、解説篇A5判・380頁／本体48,000円

ISBN4-7842-0728-7

※書の文化史 書状にみる人と書

波多野幸彦著

鎌倉時代の慈円・藤原定家、安土桃山時代の織田信長・古田織部・近衛信尹・伊達政宗、江戸時代初期の後陽成天皇・沢庵宗彭・千宗旦・松花堂昭乗・金森宗和などの手紙を中心に、140点余を図版掲載し、人と書の表現を考える。

▶A5判・380頁／本体3,800円

ISBN4-7842-0948-4

平安時代書道史

春名好重著

飛鳥時代、律令政治を背景に隆盛したわが国の書は、平安時代に入るとますます盛んになり、文化の発達とともに発展を遂げ、頂点に達した。本書は、わが国の書の歴史の上で最も重要な平安時代の書の推移と特色を明らかにするものである。カラー図版4点、モノクロ挿入図版29点を収録。

▶A5判・300頁／本体3,689円

ISBN4-7842-0759-7

小松茂美 人と学問 古筆学六十年

田中登編著

被爆体験の病床で『平家納経』と出会い学究に志し、東京国立博物館を経て古筆学研究所を設立、ついには古筆学を大成した小松茂美博士の60年におよぶ学問のあゆみをたどる。

【内容】第一部 小松古筆学 六十年の軌跡／第二部 小松茂美 人と学問／第三部 小松茂美履歴・研究業績

▶A5判・256頁／本体2,200円

ISBN4-7842-1120-9

※古筆切資料集成 [全6巻]

伊井春樹編

奈良・平安・鎌倉の貴重な古写本や卷子本が解体され、室町末期から江戸初期にかけて大量に出回った古筆切。本書では現物及び複製出版など、今日までに刊行されたものから、一葉ごとに忠実に翻刻し、作品別・伝称筆者順に集成。最終巻には補遺と共に詳細な索引を付す。

▶A5判・平均470頁／揃本体49,000円

※大手鑑・予楽院臨書手鑑 陽明叢書国書篇

春名好重解説

近衛家に伝存する史料は陽明文庫として保存されている。国文学に関係深いものを選び、写真製本として公刊するシリーズ。

当巻は近衛家熙（予楽院）自ら作られ近衛家に伝存。古代・中世の歌集・歌会・朗詠集・詩文集など、すぐれた古筆が305点押された国宝。

▶菊判・500頁／本体12,500円

ISBN4-7842-0152-1

古筆切研究 第一集

小林強・高城弘一共著

本書は、著者蒐集の古筆切の選りすぐり50点を紹介。一点ごとに影印・解題・釈文の他、関連資料についても言及し、詳細な解説を加える。古筆学研究者のみならず、国文学・書誌学・書学・書道史の研究者にとっても必読の書。

▶A5判・280頁／本体2,800円

ISBN4-7842-1040-7

橘為仲朝臣集

片桐洋一解説

藤原定家手沢の伝西行筆歌集の完全複製。橘為仲（?～1085）は、藤原経衡・僧能因・周防内侍などの歌人と交友関係があり、和歌六人党の一人とされた人物。本書は二本ある家集のうち的一本。特濃和紙にF Mスクリーン印刷（特色多色刷）・大和綴（タテ13.6×ヨコ12.9センチ）・屋郎式桐箱（内箱）入り。

▶釈文・解題98頁／本体55,000円

ISBN4-7842-1160-8

名家伝記資料集成 [全5冊]

森繁夫編

短冊の蒐集、伝記研究で知られた大阪の実業家、森繁夫氏が二十数年の歳月をかけて調査編集した草稿を、短冊、古筆など広く古典籍の蒐集で著名な中野莊次氏が更に二十数年かけて浄書、補訂したものである。鎌倉末期から昭和20年までに没卒した国学者・歌人・漢学者・文人・高僧・芸術家・政治家・志士等の45,000名の伝記資料を集大成。

▶A5判・総5400頁／本体130,000円

ISBN4-7842-0682-5

※三藐院 近衛信尹 残された手紙から

前田多美子著

本阿弥光悦・松花堂昭乗とともに「寛永の三筆」として日本書道史上にその名を謳われてきた近衛信尹。本書では信尹の生涯を彼の残した手紙から読み解き、隠れた素顔を明らかにし、さらに能書としていかに遇されてきたのか、その書とはどのようなものであったのかを改めて考えなおす。

▶A5判・270頁／本体2,300円

ISBN4-7842-1299-X

近代日本における書への眼差し

高橋利郎著

日本書道史形成の軌跡毛筆で書かれた肉筆の文字資料が、近代に「書」として位置付けられていく過程を、書道史に関する出版をはじめ、宝物調査や展覧会の列品、また文化財関連の法令から探り、近代における書道史形成の軌跡をたどる。また、近代数寄者が私的に書跡を鑑賞する場について考察し、その書跡へのまなざしの影響の大きさを論じる。

▶A5判・304頁／本体4,800円

ISBN978-4-7842-1595-9

古今和歌集への道 国文学研究七十七年

久曾神昇著

『古今和歌集成立論』を始めとして、古今集に関する数々の出版物で、研究史上不滅の金字塔を打ち立てた久曾神昇博士の回想録。古今集・歌合・仮名書状・歌学・三十六人集・古筆学・郷土史など、各分野にわたって回顧。巻末には、博士の略年譜・著作目録・主要論文目録・古筆研究会目録など、博士の学究活動の全貌を伝える資料を併載。

▶46判・236頁／本体1,900円

ISBN4-7842-1221-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。